



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを「職員の仲間」という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第46号

2022年1月14日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「2021 冬休みのわくわく算数・数学教室」を振り返って

片葩小学校・東浦中学校の「冬休みわくわく算数・数学教室」は、新型コロナウイルスの変異株が心配されていましたが、児童・生徒とSPさんが一丸となって「まずは感染症対策を」という気持ちで臨んでくれたおかげで、無事全日程を終了することができました。参加をしてくれたSPのみなさん、ありがとうございました。児童・生徒の感想やSPのみなさんの活動記録を読ませていただきましたが、子どもたちの「楽しかった」「来てよかった」が満載でした。今後の活動の励みやヒントにしてもらえたらと思い、その一部を掲載します。ぜひご覧ください。

子どもたちの感想

<1年生>

- プリントの間違ったところや忘れたところを先生が優しく声をかけてくれて、嬉しかったです。
- 私は、わくわく算数教室が好きなので、終わる時に「やだなあ」と思います。3回しかできないことが一番いやだけど、3回全部でいっぱい100点を取りたいです！



<2年生>

- 形づくり、九九、三角形と四角形などたくさんの勉強ができてよかったです。とっても難しかったけれど、だんだん慣れてきて、ほとんど100点が取れました。これはお兄さん先生のおかげだなと思いました。3年生も4年生もわくわく算数教室に来たいです。
- 今日の勉強は楽しい勉強ばかりでした。勉強なのに楽しいので、「もっと勉強したい！」と思います。Y先生は優しく、時計を見ては「休憩する？」と声をかけてくれたので、すごく嬉しかったです。先生の名前も覚えました！また会ったら、Y先生と一緒に勉強したいです。

<3年生>

- 私は算数が嫌いで、どうしたら好きになれるかを調べに、わくわく算数教室に来ました。今日、算数が少し好きになったかもしれません。少し楽しかったです。先生、ありがとうございました。
- いろいろできて楽しかったです。難しい問題があったけど、面白かったです。冬休みのわくわく算数教室は終わりですが、春休みもあたらまた参加して、楽しくやりたいです。





<4年生>

- 割り算のひっ算を18問くらいやってもう無理です……。『練習すればできるよ!』と先生が言ってくれたので、家でもやってみようかな? 3学期の算数が少しだけ楽しみになった気がしました。
- 今日、文章問題が一番難しくて、少し間違えてしまったところもありました。でも、分かり易く先生が教えてくれたので、分かった時は嬉しかったです。また算数が好きになれたと思います。

<5年生>

- 久しぶりにやった単元を覚えられました。わからない問題は、お兄さん先生に聞いて、家でやるよりスムーズに集中して勉強できました。これからいろいろな算数の問題を解いて、算数を克服したいです。
- 今日も苦手な割合を頑張りました。私は、特に割合の文章問題が苦手だったので、いつも以上に頑張りました。割合が少しだけ得意になりました。SPさん、ありがとうございました。



<6年生>

- 難しい問題をたくさんやって、解けたらすごくスッキリしました。無理そうな問題でも、諦めなければ解けるんだなと思いました。すごく楽しかったです。
- 今日は、算数で分からなかった「速さ」を勉強しました。私は、まだ時速を分速に直す時や分速を秒速に直す時、 $\times$ のか $\div$ のかが分かりませんでした。でも、問題をたくさん解いて、SPさんに教えてもらって、分からなかった算数の「速さ」が分かるようになりました。とても楽しかったです。

<中学生>

- とても集中できました。先生やSPさんがしっかり教えてくれて、とても分かりやすかったです。分からない問題を教えてくれた時に、優しく分かりやすく教えてくれて解けるようになったので、来てとてもよかったです。また、お姉さん先生が、早く解ける“とっておき”? みたいなことも教えてくれたので、とてもよいクリスマスプレゼントをもらえたような気がします。ちょっとできるようになったので、頑張りたいです。また数学教室に参加したいと思いました。今日はとても良かったし、集中してできました。ありがとうございました!
- 今日は、分からなかったところをたくさん教えてもらいました。すぐ近くに先生がいらしたので、気軽に聞けたと思います。声もかけてくれたので本当に助かりました。家とは違う雰囲気だったので、集中して取り組みました。図などを使って表してくれたり、基礎をしっかり教えてくれたりしました。本当にありがとうございます。わくわく数学教室は初めてでしたが、また次回も行きたいです。私は塾に行っていないので難しいと思うのですが、こまめにこの教室を開いてくれると本当に有難いです。問題の解き方が分かった時、すごく嬉しかったです。

SPさん(学生)の感想



小学校 1 年生を勉強に向かわせるのはなかなか難しいことであると痛感させられた。みんなお喋りで、なかなか勉強しようとしてくれない。ただ、勉強が嫌いという訳ではなく、上手く勉強する流れを作ってあげれば、そこからは早い。その流れを作ってあげる、という点で始まる前の児童との関係作り、これがかなり大事なのではないかと始まる前から考えており、積極的に担当児童と話して信頼関係を築いていった。すると、私の話をしっかり聞いてくれて、なんとか勉強に向かう流れを作ることができた。小学生全体に言えることだが、教師側は勉強してほしいと考えるなら、まずきちんとした関係作りをそれまでに行っていないと、授業中にかなり困るのではないかと考えた。

[愛知教育大学教育学部 2年]



今回は担当が 2 人だったので、教えやすかったと思いました。個人で何がわからないかを見つけ、問題を解決するための問題を探すのが難しかったと感じたので、わからないところを見つける速度や問題を探す速度などを上げたいと感じました。自分の担当の子どもと担当ではない子どもが喋り始めても、柔軟に対処できたと思いました。実際に先生になった時に応用できることが学べたため、参加して良かったと感じました。

[中京大学スポーツ科学部 2年]



午前中は一対一での学習になり、児童の苦手な単元を克服できるように学習した。自分なりに丁寧に教え、児童に自分で解いてもらう形をとりつつ、分からない様子が見られれば、すぐに「どうしたの?」と声をかけるように心がけた。少し複雑な問題に対しては、完璧な理解までとはいかなかったが、基本的な内容は抑えることができたと思う。午後は、小学1年生2人を見た。静かに解くことができないと考え、2人でどっちが早く解けるか、どっちが正しく解けるかなど少し競わせたりして、楽しく学習させることができたと思う。

[上越教育大学大学院教育実践高度化専攻 修1年]



今回は4年生2人を担当して、とても落ち着いた雰囲気の中、苦手なところをしっかりと押さえて楽しみながら算数に取り組ませることができました。学年の違いによって、子どもたちの様子や態度が全然違うことを改めて感じることができました。プリントとプリントの繋ぎ目でどうしても印刷する時間ができてしまい、子どもたちを待たせてしまうと思ったので、予め教科書の問題を空いている紙に書いて用意しました。なので、とてもスムーズに進んだと思います。子どもたちを見てあげられない時間の工夫も、大切になってくると感じました。

[梶山女学園大学教育学部 2年]



1年生3人を見るのは話してしまって「進まないかな」、「少し大変かな」と思っていたのですが、3人とも楽しみながら問題を解いてくれて、たくさんのプリントを進めることができ、良かったです。感想にも「先生とやると楽しかった」と書いてくれていて、楽しみながら一緒に問題を解いてくれていてとても嬉しかったです。算数を楽しいと思ってもらえる雰囲気をつくることができ嬉しかったです。

〔愛知大学国際コミュニケーション学部 2年〕



SPの引き継ぎコメントに「話をしてしまう傾向があり、集中力が続かにくいに姿が見られた」というコメントがあった。そのため隣の子との間に、私が向き合って座り、個人の場所が取れるよう工夫した。また、丸つけの際に雑談も交えて話をする事で、問題を解くときは解く、話をするときは話をすると切り替えを意識して行った。最後に「今日沢山の問題を解けた」という言葉を聞くことができたので良かった。その子が勉強に向き合いやすいように一人一人に合わせた支援が重要だということ学ぶことができた。

〔東海学園大学教育学部 3年〕



今日は中学年と高学年で勉強しました。子どものやる気をどう引き出すか、友達と席が近いとついつい喋ってしまうことに対してどう指導するのか考えました。4年生は喋りたいと思うのは当然なので、私が教えるよりも間違えたところを子どもたち同士で教えた方がコミュニケーションもとれて、教えられた子どもも印象に残ると思います。子どもを静かにさせるのではなくて、いかに喋る機会を設けるのかが授業でも大切だと思いました。

〔日本福祉大学子ども発達学部 4年〕



Yさんはとても集中して取り組んでいてよかったと思います。Oさんはやる時はやる、やらない時はやらないがとてもはっきりしていたので、モチベーションが長く続くようにできればいいなと思ってます。次に来る時がいつになるかはわかりませんが、今日の経験をこれからの生活に活かしていきたいです！

〔埼玉大学工学部 1年〕



初めての参加で、子どもたちと短時間で打ち解けられるか不安でしたが、活動が始まる前から会話を弾ませることができ、分からないところを積極的に聞ける環境を作り出すことや、ここがやりたいと意欲的な姿勢を見ることができて、とてもよい時間を過ごすことができました。また、この活動に参加しているSPの方の子どもとの関わりや、教え方を見ることができ、普段の環境では学べないことなので、とても勉強になりました。

〔金城学院大学人間科学部 2年〕



ボランティアに初めて参加したのがこの「わくわく算数教室」でした。子どもたちに勉強をわかりやすく教えることの難しさをあらためて感じました。また、教えるだけでなく子どもたちとの距離を縮めるために、たくさん話を提供したり、盛り上げたりする必要があることも分かりました。ここで学んだことを、まずは普段の学校の模擬授業に役立てたいと思います。ありがとうございました。

〔名古屋学芸大学ヒューマンケア学部 1年〕



本日のわくわく算数教室で担当した児童は、午前午後とも元気の良い児童であり、その児童たちへの対応にだいご手を焼いた。しかし、しっかりこちらが与えたノルマをこなしてくれ、それに助けられた。学級運営する上で、このような児童は複数いる事が想像できるため、事前にどのように接すればいいかなど、児童実態を感じることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。

〔中部大学現代教育学部 3年〕



2日間のわくわく算数教室に参加して、日常では絶対に経験することができない“場の雰囲気”などを味わうことができたので良かったです。個人的には、待ち時間にボーッとしている子への声かけができなかったことや、大人数の対応をする時に効率が悪くなってしまったことが反省点です。次回参加する機会があるときは、今回の反省を踏まえて、子どもたちにもっと楽しく感じてもらえるような対応をしていけたらなと思いました。午後に担当した子が感想用紙に「来てよかった、算数が少し好きになった」ということを書いていて、人に何か影響を与えることができる“教員”という職にあらためて魅力を感じ、採用試験に向けて頑張ろうという気持ちになりました。貴重な体験をありがとうございました。

〔愛知学院大学心身科学部 1年〕



本日は2人の児童を担当させていただいた。活動が始まる前にSP通信を読んでいて、プリントを印刷している間に子どもたちが手持ち無沙汰になってしまわないよう、プリントの裏に問題を書いてあげているSPさんがいることを知った。確かに、印刷をしている時間はどうしても子どもたちがやることなく、「もったいないな」と思っていたので、私もその記事を参考にして今回の活動に生かすことができた。問題もその子一人一人に合わせて書いてみたり、間の時間に合うような問題量にしたりすることでとても喜んで取り組んでいた。その姿を見て、このようなちょっとした工夫というのが子どもたちのやる気を引き出したり、次への意欲になったりするのだと感じた。今後もウィークリーSPで多くの学びを吸収していきたいと思う。

〔至学館大学健康科学部 3年〕



今回は5年生二人を担当しましたが、前回と児童も教える単元も違うため、新鮮な気持ちでした。前回の経験を生かして、まず、児童の二人が質問しやすいような空気を軽い自己紹介で作りました。おかげで、二人とも質問や次にやりたいことを言ってくれたので、前回から成長できてよかったと思っています。児童の様子や教え方など、実践でより深く学べるが多かったので、わくわく算数教室に参加できて良かったと思っています。

[名古屋学院大学経済学部 3年]



今日は担当児童が1人で、はじめてマンツーマンで指導した。マンツーマンは1人の子どもに集中して指導できる反面、他の子どもの力を借りて子ども同士の対話を活かしながら指導することができないため、教師の子どもの心を掴めるような指導力が必要だと感じた。自分自身、指導力不足を実感し、もっと子どもの興味を引き出せるような工夫が必要だと感じた。そのために数学に精通し、子どもの興味を引き出せるような問題等を思いつくようになりたいと感じた。

[愛知淑徳大学文学部 4年]



今回、わくわく算数教室に参加させていただき、様々な発見をしました。例えば、小学生のエネルギーです。たった90分の触れ合いでしたが、汗だくになって算数を教えました。また、中学生の素直さにも驚きました。分からない問題を解説すると、「あーそうか」と感心してくれて、教え甲斐があり、とても新鮮な気持ちを味わうことができました。まだまだ改善点はありますが、今後のわくわく算数教室に活かしていきたいと思います。

[大同大学工学部 3年]



2人ともスラスラ解けていたので、難しい問題も解かないか提案しながら印刷するページを決めていった。2人とも基本的に解き方が分からない問題が無くて、教えることが時々しか無かったので、新しくできるようになったものは少ないのではないかと感じる。もう少し問題を難しくして、「新しくできることが増えて嬉しい」という気持ちも伝えられるようになりたいと感じた。

[桜花学園大学保育学部 1年]



今回の担当児童数が1人だったため、以前の活動とはかなり異なり、指導などにも余裕を持てたと感じました。そのため、間違っている問題もどこまで理解できているのかを本人と確認することができ、以前よりは手ごたえを感じています。児童が練習問題を解き続け、かかった時間が減り、誤答が無くなっていくのを見ると、こちらもとても嬉しく思いました。次回参加させていただくことがあれば、苦手分野に対するアプローチを考えていきたいです。

[南山大学人文学部 3年]